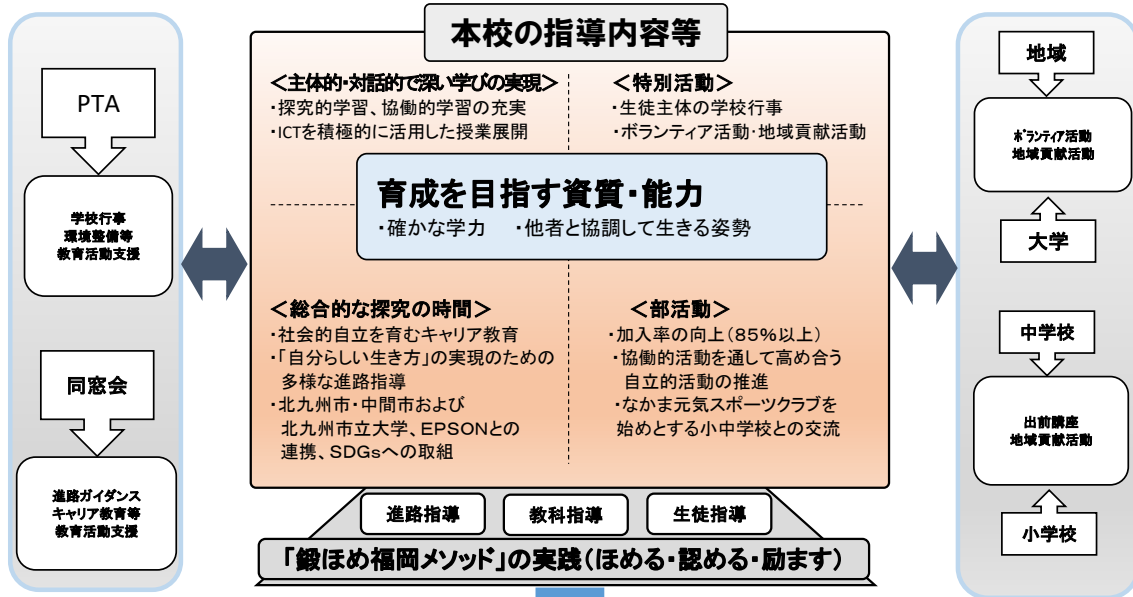




<スクール・ミッション>
 ・広い視野を持って自ら学び、地域や社会に貢献できる人材を育成する
 学校

スクール・ポリシー		
アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)	カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)	グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)
(1) 好奇心を持ち、様々なことを学びたいと思う人 (2) 目標を持ち、粘り強く努力を重ねることができる人 (3) 様々な活動に積極的に行動しようとする意志を持つ人	(1) 様々な進路に対応できるコースの編成と、実践的キャリア教育の実施。 (2) 粘り強く取り組む姿勢を育成する機会を多く設け、達成感や自己肯定感をもたらす指導。 (3) 生徒が主体的・協働的に取り組む様々な教育活動の実施。	(1) 学びを継続することができる自立した学習者の育成(向学) (2) 将来の目標を達成するために、粘り強く努力を重ねることができる人材の育成(忍耐) (3) 集団を高めるために、他者を認め、協働することができる人材の育成(敬愛)



<令和6年度の教育重点目標>

(1) 様々な進路に対応できるコースの編成と、実践的キャリア教育の実施。

- ① 探究的な活動を授業改善に反映させ、「生きる力」につながる「学び」の機会となるコース編成を行い、将来の「学びの継続」につなげて自立した学習者の育成を目指す。
- ② 本校での中心的取組であるSDGs活動等をテーマとする総合的な探究の時間などを軸に、一人ひとりがより良い未来社会の実現、多様な分野に貢献しようとする意欲を持つ人材の育成を目指す。

(2) 粘り強く取り組む姿勢を育成する機会を多く設け、達成感や自己肯定感をもたらす指導。

- ① 多くの生徒が主体的に学校行事に取り組み、達成感や充実感をもたらす機会を多く経験させる。
- ② 外部団体や地域社会と連携し、生徒に「広い視野」への気づきを与え、地域貢献活動などに積極的に参加させ、「地域や社会で必要とされる」実感に基づく自己肯定感をもたらす指導を行う。

(3) 生徒が主体的・協働的に取り組む様々な教育活動の実施。

- ① 多様性を受容できる感受性を育み、人権意識に基づき他者の価値観や立場を認め、いじめや差別を絶対に許さない態度を育てる。
- ② 成年年齢の引き下げに伴い、主体的に社会の形成に参画する良識ある態度を育て、社会集団の向上のために他者と協働できるコミュニケーション能力の向上を図る。

※ 上記(1)～(3)の基盤として、安全と人権の保障を基盤とするすべての教育活動の実施

- ① 近年の気候変動による教育環境の変化を踏まえ、学校行事等だけでなく、登下校時において、生徒や教職員の安全確保を最優先した教育活動を実施する。
- ② 生徒の様々な状況を踏まえた教育的支援を充実させ、SCなど専門家と連携しながら生徒の活動に寄り添い、共感的人間関係をもとにした指導や助言を行う。
- ③ 主権者としての自覚を育てていき、人権意識に基づき、責任や権利や機会が平等に分かち合える社会を実現する人材の育成を図る。

以上の取組と「鍛ほめ福岡メソッド」を通して「福岡県教育大綱」が掲げる人材の育成に努める。